

のり海況速報 第10報 (24-10)

平成25年 2月22日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 2/20：内湾(わかふさ)、2/21：内房北部(わかふさ)
 関東・東海海況速報(1/26-2/22)、東京湾口海況図(1/26-2/22)
 自動観測ブイデータ(1/26-2/22)、拓南観測データ(2/20-22)
 モニタリングポスト(2/20：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】 沖合水の動きに注意。

- ・内湾の表層水温(図1)は平年より約1℃低く、ほぼ全域で8～10℃台になっています。塩分は31後半～32台で、平年よりやや高くなっています。
- ・一方、内房北部の表層水温は9～15℃台後半で、浦賀水道航路付近までは2月13日頃から流入した沖合水の影響によって15℃台になっています(図1)。
- ・内房北部縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2下)でも、浦賀水道航路付近の表層から底層まで水温15℃以上、塩分34以上の水塊が流入していますので、この動きには注意が必要です。

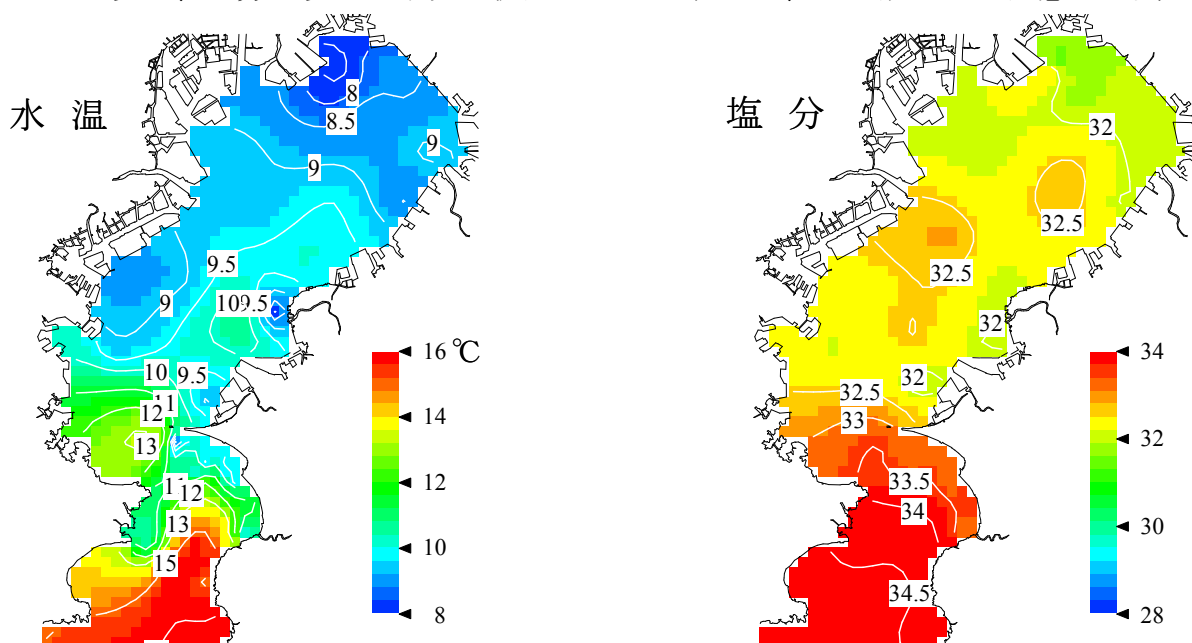


図1 表層の水温・塩分の分布(平成25年 2月20, 21日)

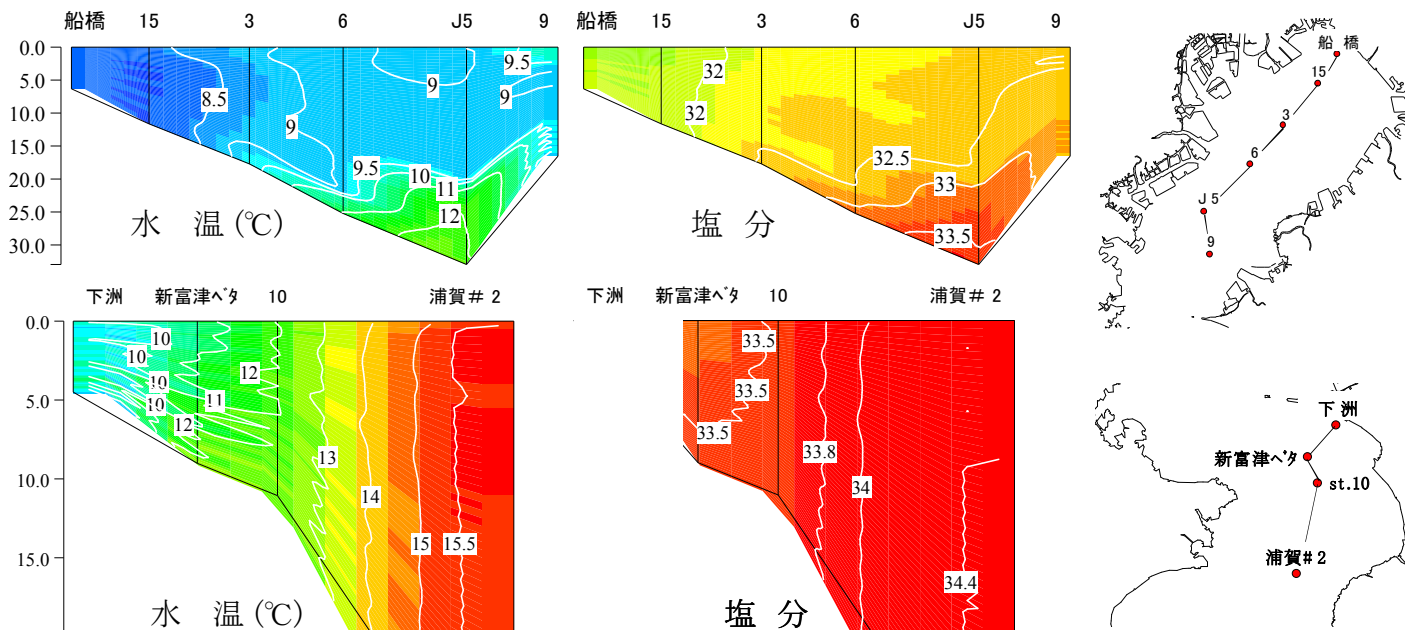


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成25年 2月20, 21日)
 (上：内湾(2/20)、下：内房北部(2/21)、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】 依然、リン不足。

- ・透明度は湾奥の浦安から船橋にかけての沿岸及び大貫地先でやや低くなっています。プランクトンはケイ藻のスケルトネマが多く、ユーカンピアも出現し始めています。湾奥では水色が褐色基調で、赤潮気味になっています。
- ・表層の栄養塩は窒素(DIN)は十分維持されていますが(図3左)、リン(DIP)が内湾でかなり少なくなっています(図3右)。三番瀬から木更津のノリ漁場ではノリの色落ちが心配される濃度になっていますので(図4)、今後の動向には注意が必要です。

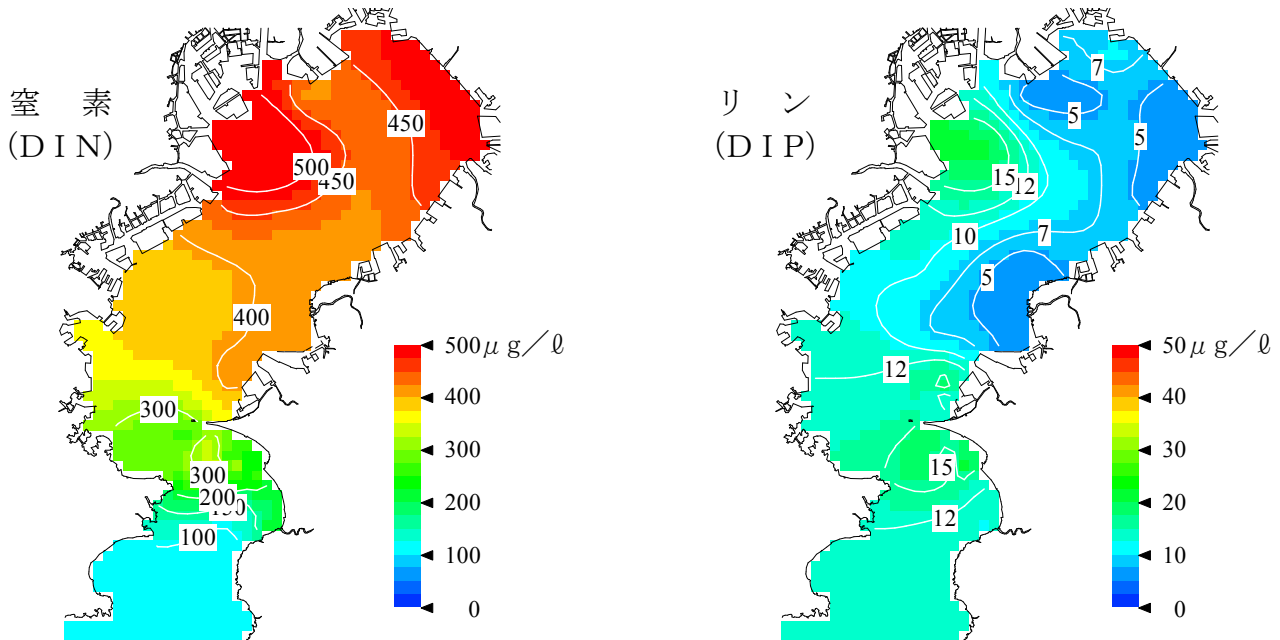


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成25年 2月20, 21日)

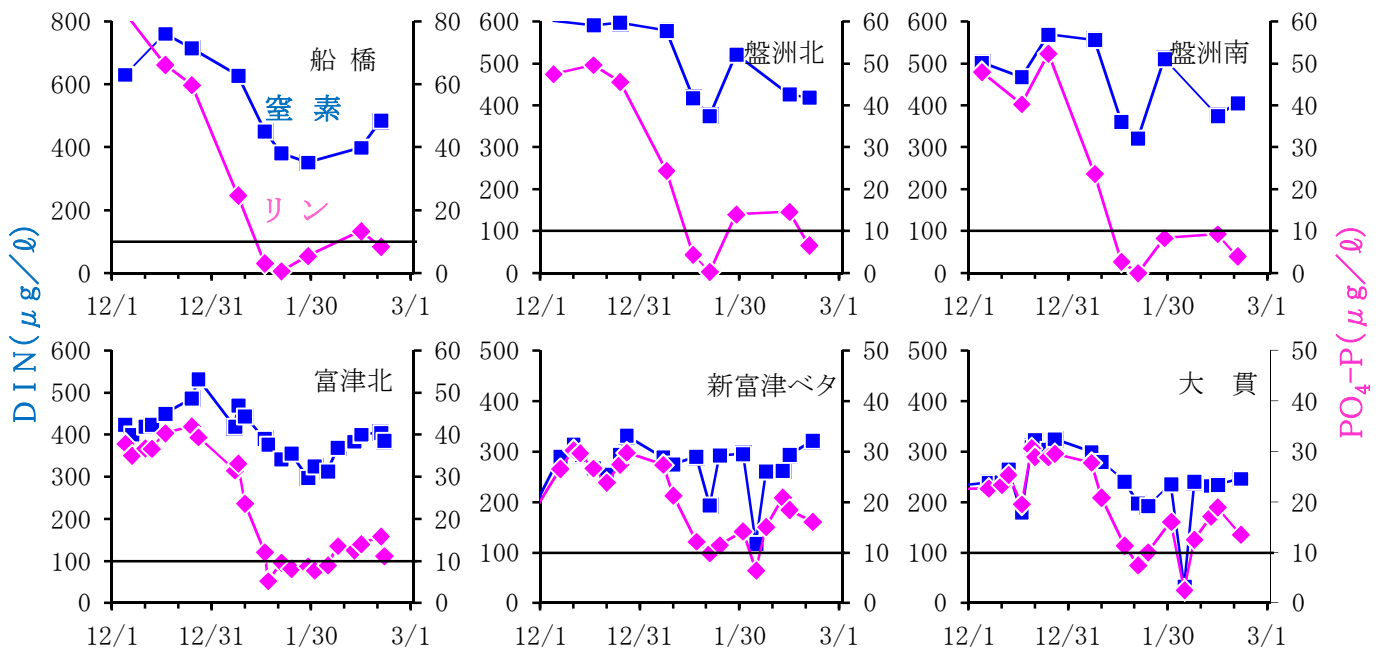


図4 各地先における栄養塩濃度の経過(表層：平成24年12月1日～25年2月21日)
(図中の横線はノリの色落ちを引き起こすとされる目安の濃度 ■:DIN ◆:PO₄-P)

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”ノリ養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html